



校長室だより 2月

“ニューノーマル”



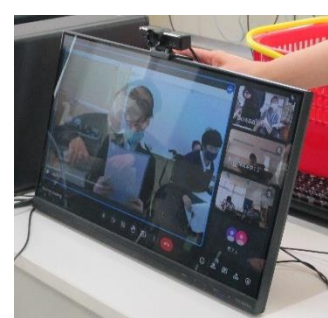
“ニューノーマル”という言葉をご存じでしょうか。“ニューノーマル”とは、「New（新しい）」と「Normal（標準）」をつなげてできた造語で、コロナ禍前の様々な生活様式や行動などを、with コロナ・after コロナの社会に合わせてアップデートしていくことなのだそうです。2月18日には、福島県も「まん延防止等重点措置」が3月6日まで延長されました。本校においても、学校の対応レベルは3を継続し、学級での活動が中心となっていますが、“ニューノーマル”の視点での取り組みが広がっています。



長いお休みになっているお友だちとリモートでつながって学習しています。



集団での学習は控え、学級を中心に工夫して学習を進めています。



「高等学校生徒会との交流」や「高等部生徒総会」もリモートで開催しています。

新型コロナウイルスの感染状況については、現在のところ、今後の見通しが立ちにくい状況にあります。これからも、感染防止対策を整えながら、みんなで「学びを止めない」工夫を継続していきたいと思います。

令和4年2月

福島県立郡山支援学校 校長 齊藤 恵子

